

「わかる授業」実践に向けての授業改善プラン

令和4年度 府中市立府中第十中学校

教科名 英 語

	「学びに向かう力等を育む」視点での現状と課題 (「本校の第1回授業評価アンケート結果」を踏まえて)	現状の課題を改善するための具体的方策	授業改善の評価方法	取り組みの修正点 (第2回生徒アンケートを踏まえて)	まとめ 成果と課題
1年	<p><現状> 授業評価アンケートによると、「授業がわかる」と肯定的な生徒が多く、何事にも一生懸命取り組む生徒が多いが、苦手意識を持っている生徒が一部いる。</p> <p><課題> 基礎的な知識の定着、書くとなると難しく感じる生徒がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとに小テストを行い、基礎的な語彙と表現の定着をはかる。 ・話す、書く活動を繰り返し、さらに基礎基本の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・授業観察 ・授業評価アンケート 	<p>アンケートによると、授業のポイントを理解して意欲的に学習する生徒が多くいる。今後は、会話練習など多く取り入れ、表現する力を伸ばしていく。</p>	<p>全体的に落ち着いた雰囲気での学習している。「書く」ことに苦手な生徒がいるので、継続して練習問題やアクティビティーなどを通して、少しでも苦手意識をなくしていきたい。</p>
2年	<p><現状> 授業評価アンケートによると、授業はわかると肯定的な生徒が多い。特に話す活動で積極性が見られるが、英文を書くことに苦手意識がある生徒が多い。</p> <p><課題> 英語を使って話す力を定着させ、さらに書く技能につなげる必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の振り返りシートで、学びに向かう姿勢を振り返らせる。单元ごとに小テストを行い、基礎的な語彙と表現の定着をはかる。 ・授業の中で話す活動を意識的に取り入れ、表現する力を伸ばしていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・授業観察 ・授業評価アンケート 	<p>アンケートの結果では授業のポイントを理解して意欲的に学習している生徒が多かった。授業の中で話す活動を増やし、新出の文法事項を用いてペアやグループで会話をするタスクをさらに設けていく。</p>	<p>振り返りシートの提出率は94%で、各自で課題を見つけて学びに向かっていることがうかがえる。定期考査では結果に結びつかないこともあり、とくに思考力や表現力に課題がある。授業の中でコミュニケーション活動を通して力をつけていく。</p>
3年	<p><現状> 授業評価アンケートによると、授業を「わかりやすい」と感じている生徒が多い。また、手を挙げて発言するなど、意欲的な生徒も多い。</p> <p><課題> 単語や英文を正確に書くことに苦手意識がある生徒が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとの小テストや、学期ごとのスペリングコンテストを通して、単語や基本文を正確に覚える機会を増やす。 ・授業の中で英語の作文を書く場面を増やし、自己表現する力を伸ばしていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・授業観察 ・授業評価アンケート 	<p>アンケートによると、授業はわかりやすく感じている生徒が多い。英語を正確に書くことや英語の自由英作文に関してはまだ苦手意識がある生徒が多いので、授業の中で練習する機会を設けていく。</p>	<p>どの少人数クラスも落ち着いた雰囲気での学習している。3年間で学習した英語の表現を使って、自分のことについて適切な英語で表現できるように、授業で取り組む機会を増やしていく。</p>